

奄美群島
日本復帰
までのあゆみ

◆昭和20年(1945年)
8月 太平洋戦争終戦

◆昭和21年(1946年)
2月 「2・2宣言」により奄美群島が日本から行政分離される
10月 鹿児島県大島支庁を廃し、臨時北部南西諸島政庁設置

◆昭和22年(1947年)
5月 臨時北部南西諸島司法庁が発足(司法権の独立)
7月 低物価政策実施

◆昭和23年(1948年)
4月 6・3・3制教育制度実施
11月 低物価政策廃止

◆昭和24年(1949年)
4月 米国軍政府が配給食料の3倍値上げを発表。反対運動が起こる

◆昭和25年(1950年)
11月 奄美群島政府設置

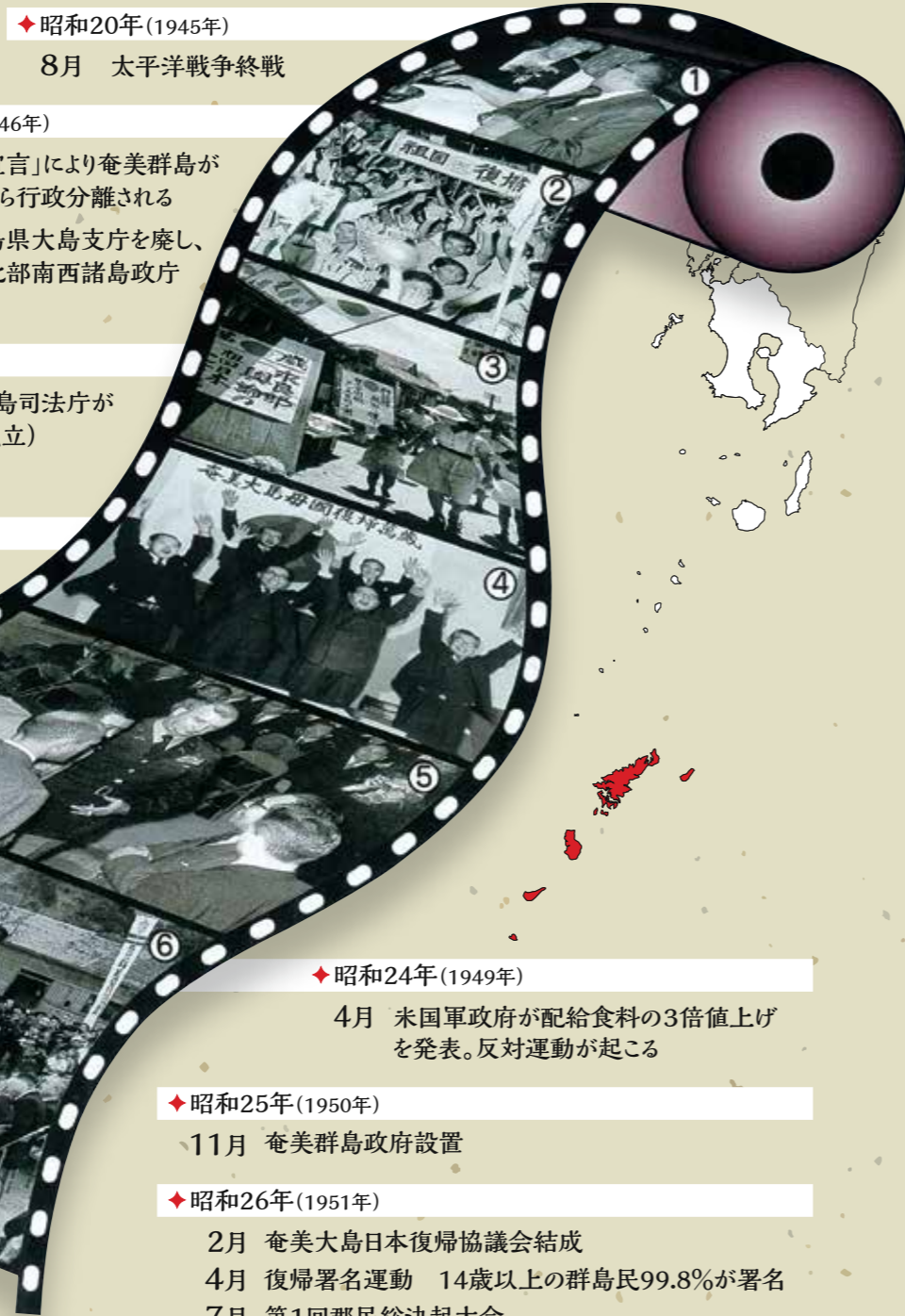
◆昭和26年(1951年)
2月 奄美大島日本復帰協議会結成
4月 復帰署名運動 14歳以上の群島民99.8%が署名
7月 第1回郡民総決起大会
8月 各地で断食祈願 密航で日本に渡り陳情

◆昭和27年(1952年)
9月 琉球政府奄美地方庁設置
11月 奄美大島日本復帰協議会代表3名が陳情活動のため日本に渡航

◆昭和28年(1953年)
5~6月 重成格県知事、奄美連合婦人会代表がルーズベルト夫人に陳情
8月 ダレス米国務長官が奄美群島返還を発表<ダレス声明>
12月 日本復帰(日米協定調印:24日、復帰:25日)

日本復帰直前から復帰までの写真
(昭和28年の出来事)

- ① ルーズベルト夫人に奄美群島の復帰の協力を依頼する重成格県知事<5月31日>
- ② ダレス声明に歓喜する住民<8月>
- ③ 復帰当時の名瀬市街<8月>
- ④ 県庁知事室にて復帰を喜ぶ重成格県知事ら
- ⑤ 名瀬市で行われた奄美群島返還式<12月25日>
- ⑥ 名瀬小学校で行われた復帰祝賀式典<12月27日>



祝
奄美群島
日本復帰
七十周年



奄美群島は、終戦後の昭和21年2月に、米国軍政府の統治下に置かれました。その結果、奄美群島から日本本土への渡航が自由にできなくなり、基幹産業である黒糖や大島紬などの販路も失われ、群島住民の生活は困窮しました。

日本復帰は、群島住民の強い願いであり、群島住民をはじめ全国各地の奄美出身者たちが一丸となって組織的な署名活動や断食活動などを行いました。

そのような多くの人々の努力の末、昭和28年12月25日、奄美群島の日本復帰が果たされました。「非暴力」、「無血」で行われた奄美群島の復帰活動は、世界にも類例を見ないものとして高く評価されています。

今年、奄美群島が日本に復帰して70年の節目の年です。これを記念して、11月には記念式典も開催されます。

この機会に、奄美群島の歴史や先人たちの想いを改めて見つめ直し、一致団結する大切さ、そして平和の尊さを後世に語り継いでいきたいと思います。

